



# 高度実践看護師養成 コース（がん看護学）



本コースは、がん看護のスペシャリストとしての①課題を発見し、解決できる能力②多職種と連携しながら仕事をしていくため調整力の養成に力を入れています。そのため、学生の臨床経験を大事にし、その経験の中から課題が見つけれられ、問題解決ができるようにエビデンスをもとにした対話を重視しています。

また、調整力をつけるには、学生自身が主体的に動くことが大切なため、学生の考えをできる限り尊重するようにして助言しています。さらに、専門看護師として社会に認められるためには、礼節が大切なので、ふさわしい態度が身に着けられるようにしています。

なお、研究コースでがん看護を学ぶこともできます。受験を検討されている方は是非、ご連絡ください。

## がん専門看護師としての活躍

### 成熟した看護職者への成長



【がん患者や家族のニーズを見極める力、そして寄り添い、支えることができる知識や技術を身につけたいと思い進学しました。しんどいこともあります。仕事をしながら学べる環境をサポートしてくれる先生方や、職場のスタッフ、また家族に感謝の気持ちを忘れず、目標に向かって努力していきたいと思っています】（修士2年 岡本聖子さん）

### 教員によるサポート



本コースで学生が人として、看護師として力をつけて、修了後にそれぞれの場で活躍できるように支援します。  
（永井庸央准教授）



修士課程の2年は、学生にとって学ぶ楽しさを味われる一方で、学業をすすめていくことへの苦しさや辛さもあります。学生の気持ちに配慮しながらコースを進めています。  
（大田直実教授）



# 高度実践看護師養成 コース（がん看護学）



## 修了生の活躍



前田智樹さん  
平成27年度修了生

私は、平成28年度にがん看護専門看護師に認定されました。大学院では講義、実習、事例検討会などを通し、実践力や論理的思考能力、言語化能力を高める勉強をしました。大学院で学んだことを活かし、現在は中規模の急性期病院にて、がん患者さんの意思決定支援、アドバンスケアプランニングの話し合いなどの活動を行っています。



入矢涼子さん  
令和元年度修了生

私は、令和2年にがん看護専門看護師の認定を受けました。現在は、県内の一般病院の通院治療センターに在籍しています。大学院での3年間は、楽しいとは言い難いものでしたが、大変充実した日々でした。自分自身と向き合い、看護とは何かを探求できたことは、貴重な経験になりました。至らない自分や弱みに向き合うことは、大変苦しいことでしたが、自分を客観的に見ることで解決の糸口が見つかることに気づくことが出来ました。さまざまな理論や概念を学び、実習において学修した知識を実践で活用するためのトレーニングを積むことができました。まだまだ「できるようになりました」とは言えませんが、悩みながら目の前の現象を、知識体系を用いて俯瞰的に考えようとする姿勢は身に付いたと思います。現在は認定を受けたばかりですが、これから大学院での学びを臨床で活かせるように努めていきたいと思っています。

本コース修了生および在学生・教員で“がん看護スキルアップセミナー”を開催しています。OCNS資格取得にむけた事例検討、資格取得後の活動報告などにより、OCNSに必要な能力(実践、相談、調整、倫理調整、研究)を高めています。

